



# 三中だより

中野区立第三中学校

第4号

平成29年7月19日発行

## 有終の美を飾る

校長 齊藤 久

7月8日発行の本校PTAの広報誌「紫音」(しおん)に『中野区立第三中学校。「はじまり」のための「おわり」の運動会。』という見出しがありました。今回のPTAの広報誌は三中最後の運動会の特集でした。開校70周年記念第71回運動会は、快晴の下、1年生から3年生までのすべての三中生が躍動し、有終の美を飾るに相応しい感動的な立派な運動会となりました。

新学期がスタートした4月から7月までの期間、運動会の大成功に象徴されるように、最後の1年間は最高の中学校に築き上げて幕を下すという生徒達の気持ちが伝わってくる4か月間でした。

三年生は、7月5日(水)に出発した2泊3日の京都奈良の修学旅行で、お互いに協力し合い、中学校生活最高の思い出をつくることができました。修学旅行に同行した看護師さんが帰りの新幹線で私に「中野三中の三年生の班行動をみているとすごく男女仲が良いですね、孤立している生徒が一人もいないのが素晴らしいです。宿舎で代表の生徒が話をする時などには、静かにして話を聞く態度が自然にできていました。」とお褒めの言葉をいただきました。

二年生は7月10日(月)鎌倉方面に校外学習に出かけました。猛暑の中、お互いが協力し合い時間を守って班行動をすることができました。何より約1時間の湘南ライナーの電車の中で、静かに過ごす乗車マナーが立派でした。

一年生は6月に初めての定期テストも経験し、中学校生活にも慣れ、上級生をお手本に、集団を良い方向へ向上させようと努力する生徒が学校生活の様々な場面で活躍するようになってきました。

三中として存在する時間が刻一刻と残り少なくなってまいりました。来年の4月に開校する中野東中学校へ向け、三中を最高の中学校に築き上げて歴史を閉じるという気持ちを抱き、学校生活を送っている三中生

を私は誇りに思います。

夏休みは統合に向けて改修工事を行います。面談等で来校された時にご不便をおかけいたしますがご理解の程、よろしくお願いいたします。

11月4日(土)開校70周年記念式典に向けて「開校70周年記念誌」の作成を始めました。記念誌に同窓生(卒業生)のページも設けました。詳しくは三中ホームページに7月20日アップロードいたしますので、お知り合いの三中同窓生が身近にいらっしゃる方は、ご案内をお願いいたします。



## 「学ぼう千年の歴史 刻もう一生の思い出」

第三学年主任 本川 みどり

修学旅行に出かける週の初め、月曜日の天気予報は次のようなものでした。

「台風三号が南の海上に発生しました。その後、この台風は本州を横断する可能性が高いでしょう。」

台風に向かってでかけることになってしまうのだろうか……そんな不安を抱きながら、前日の火曜日には、一足先に京都に大きな荷物を送りました。

そして迎えた水曜日。東中野駅に集合する頃には雨も止み、傘の出番はないままに出発チェックを行うことができました。

新幹線内では、発車と共にさっそくイスを回転させ、前後のメンバーでのカードゲームが始まりました。京都駅に到着後は、バスに乗り換えて奈良へと向かいました。奈良公園近くで昼食を済ませた後は、いよいよ班行動がスタートです。チェックポイントの東大寺では大仏様の大きさに圧倒された人も多かったようです。また公園内にいるたくさんの鹿におせんべいをあげたり、鹿と一緒に写真を撮るなど、鹿とたわむれる生徒が多くいました。中には、食欲旺盛な鹿につきまともわれて「少し怖かったです」とつぶやいていた女子もいました。二時間後には再びバスに乗り、日本最古の木造建築「法隆寺」へ。

五重塔や、金堂、アルカイクスマイルの仏像や、エンタシスの柱など見どころが多くありました。見学後は、京都の宿舎へ向かいました。車窓から見える朱い鳥居の八坂神社を通過したときには、「きれい！」という声が聞こえました。祇園の町に入ると、よりいっそう京らしさを感じました。宿に到着して、入浴のあとは夕食です。メニューは牛しゃぶ。みんなで鍋を囲み、美味しいお肉と炊き立てのご飯をたくさんいただきました。夜は祇園の散策でした。ちょうちんが美しく輝く八坂神社の境内をぬけて、花見小路を歩きました。祇園の中心を貫く風雅な石畳の小道です。東京とは一味ちがう風情を味わいながら、ひとときのナイトウォークを楽しみました。

二日目は、行動班で京都を一日観光しました。班長と学習係が、乗りものガイドや地図を持っての活動です。たくさんのバス路線。大勢の観光客。魅力的なお土産屋さん。そして点在する寺社仏閣。

楽しみと不安な気持ちが混在していたと思いますが、時間の遅れは走って時間を調整し、迷ったときには班員で協力し合い、大きなトラブルもなく、全部の班がそれぞれのチェックポイントを通過して、英語のインタビューの課題も果たしながら、無事宿舎に戻ってきました。

清水寺の参道で、八ツ橋の試食をたくさんした班、渡月橋の水を見ながらゆっくりアイスを食べた班、二条城で歴史を実感した班など、それぞれが計画した場所で、さまざまな思い出を作ってきたことと思います。金閣寺の美しさは、写真よりもずっときれいで「写真には写せないものがありました」と作文に書いていた人もいました。

この日の夕食のメニューは、またしても肉。今度は、すき焼きでした。昨晚と同様、大広間に元気な声を響かせながら、みんなで楽しくおいしいご飯をいただきました。

夕食のあとは、漆器加飾の体験学習です。希望したものに、デザインの下絵を描き、筆で色をのせていくものです。まるで職人のように、筆を動かす生徒もいて、仕上がりが楽しみな作品がいくつもできあがりしました。作品は後日、事後学習のスケッチブックと一緒にお披露目をする機会を設けたいと考えています。どうぞお楽しみに。

そして最終日は、タクシー行動でした。楽しい運転手さんと会話をしながら、ガイドブックには書かれていない情報を教えてもらったの五時間は「あつという間の時間でした」と言いながら、みんな笑顔で京都駅に戻ってきました。

一年生の「上野の遠足」、二年生の「鎌倉校外学習」など今までの班行動を通して培ってきた力を、今回の修学旅行で発揮することができたと思います。

学年の仲間と共に過ごした三日間で、古都の歴史を肌で感じ、様々な場面で思い出を作ってきたことでしょう。修学旅行のスローガンは「学ぼう千年の歴史 刻もう一生の思い出」でした。

みんな！ 目標達成できましたね！



## 「人権学習講話」を通して学んだこと

第一学年 山本 裕樹

7月8日の学校公開日に、「あとりえふぁんとむ」と「小淀ホーム」の方々をお招きして、「人権」をテーマにお話をいただきました。具体的には「統合失調症」や「認知症」という症状を抱えた人たちの生活や、私たちができる支援の方法について学びました。以下は、授業を終えた後の生徒の感想です。

- ★障がいのある方々が近所の公園の掃除をしていることを聞いてとても驚いた。障がいのあるなしにかかわらず、私たちは支え合っていること、支え合って生きていくことが大切であることを学んだ。
- ★「その人の人生を生きているのです。」この言葉が胸に突き刺さりました。私は人権の大切さや、一人ひとりの尊さを学ぶことができました。
- ★あとりえふぁんとむのDVDで「新しい商品の開発や海外旅行が楽しみ」という言葉があった。私は障がいのある方は海外旅行など無理だというイメージがあったが、それは偏見だと思った。障がいのある人も健常者も同じように生活を楽しんでいると知った。
- ★今日の人権講話で「すべての人は平等であるべき」と感じた。
- ★今日学んだことを親に伝えたり、世界中の人々に伝えることで、世界中の人々から「差別」という言葉がなくなればいいなと思った。

道徳の授業でも、様々な角度から人権についての学習をしています。授業や今日の講話で学んだことを大切にして、さらに「人権感覚」を磨いてほしいと思います。今回お話をしてくださった皆さま、ありがとうございました。

## 「人権学習講話」2 学年

第二学年 進藤 智成

7月8日(土)に、人権教育の一環として、アイメイト協会利用者の八方さんをお招きして、視覚障害者への理解を深める学習を行いました。まず、街中で視覚障害者の方にお会いした時のことなどについてや、身近なバリアフリーへの対応などを学習し予備知識を得たうえで、タオル、手ぬぐいを巻いて、ブラインド体験を行いました。

友人に誘導をしてもらいながら階段を下り、水を飲み、椅子に座り、また戻るという短時間の体験です。すり足で足下を探りながら恐る恐る階段を下りたり、飲もうとした水が口に入らず顔にかかったりと、普段の生活と全く違う、思い通りに行かない状況を味わっていました。

そして3時間目には八方さんからの話を伺いました。お仕事や日常生活、点字の道具、アイメイト(盲導犬)について、ご自身の考え方について等、多岐にわたるお話となりました。普段の講演ならうなずいたり、問いかけに挙手で答えたりしながら聞くところを、返事や拍手の数等で意志を表現する必要がありました。最初は勝手が違ってとまどっていた生徒達も理解し、とても集中して話を聞くことができました。日常生活で困ることはあまりないが、街中で困っている人を見かけたら声をかけてほしいという話には深くうなずき、趣味でスキューバダイビングをされているという話には皆、驚嘆していました。視覚に障害があってもそれを受け入れ言い訳に使わず、とても前向きに、生き生きと人生を送っていらっしゃる八方さんの姿に皆、良い刺激を受けることができたと思います。

最後はハネスをはずして仕事モードと切り替えた愛らしいアイメイトと交流することもでき、充実した学習の機会となりました。



## 実りある夏季休業のために

生活指導主任 高橋 信幸

三中全体として、生徒たちは落ちついた雰囲気です学校生活を過ごしています。

いよいよ、21日より夏季休業日がやってまいります。生徒たちは、長期の休業日ということもあり非常に楽しみにしています。しかし、この夏季休業日に生活のリズムを崩し、9月からの学校生活で大きな失敗をしてしまうことにもなりますので、しっかりと計画を立て、有意義な生活をしていただきたいと思います。

ご家庭での生活時間が増え、生徒にとっては自由な時間が多く誘惑もたくさんある時期ですので、部活動や補充教室などを有効利用して生活のリズムが大きく乱れないように注意してください。また、友人との外出等の際には行先・帰宅時間などの把握に努めていただき、トラブルに遭ったときにはすぐに連絡がとれる

ようにしてください。区内では、SNS 上での「なりすまし」や個人情報に関するトラブルが多く起こっております。先日、校内でもセーフティ教室で危険性の注意を促しましたが、生徒には「夏季休業中のしおり」を配布して夏季休業中の生活面での指導をしております。是非、ご家庭でも内容の確認をしていただき有意義で安心できる夏季休業日を過ごして9月からの学校生活にスムーズに入れるように準備してほしいと思っています。

夏季休業明けには、集団下校訓練、道徳地区公開講座、鉢花交流などの行事が予定されています。お時間の都合がつくようでしたら、生徒たちの学校生活の様子をご覧いただければと思います。

## 鎌倉校外学習

第二学年 岩淵 孝太

本校では毎年、総合的な学習の時間に、日本の伝統文化について学ぶ時間を設けています。教育理念として「共存・共生」を掲げ国際理解教育を推進していく一方で、日本独自の文化や歴史についても学ぶ機会をもち理解を深めていくことが重要と考えているからです。今回の校外学習の目的は「日本の伝統文化に親しむ」ことだけでなく、「仲間と協力し、自主的に行動する」ことや、「校外活動における行動の仕方や決まりを身に付ける」ことも含まれていました。第一学年の校外学習は、浅草や上野などの下町めぐりでした。今回は移動する距離も長く、行動範囲も大きくなりました。また、来年度の修学旅行に向けて、自分たちで飲食店を選び、昼食をとったり、お小遣いの範囲内でお土産やお守りを購入したり、おやつなどの軽食をとったりする計画でした。

校外学習当日は、晴天に恵まれ、充実した一日になりました。生徒たちは、計画通りにしっかりと学習を行おうと、意欲的に古都鎌倉を散策しました。そのなかで、古いお寺や落ち着いた家屋が混在する鎌倉の美しさや伝統文化を体感しました。また班長を中心として、設定した時間に見学地に到着できるよう協力してコースを巡ってきました。時間をうまく使って、お土産を購入したりおやつを食べたりすることもできました。ハイキングコースなどの山道を越えて、歴史的な街道を体験できた班もありました。そして



決まりを守って行動しようと、互いに声をかけあっていました。もちろんすべてうまくいったわけではなく、事前の計画通りにいかないこともありました。今回の校外学習は、今後の宿泊行事や修学旅行を計画していくうえでとても大切な経験になりました。



## 今後の主な予定

- |                        |                       |
|------------------------|-----------------------|
| 7月20日(木) 前期前半授業最終日     | 9月1日(金) 前期後半授業開始日     |
| 7月21日(金) 夏季休業始(～8月31日) | 集団下校訓練                |
| 夏季補充教室始(～31日)          | 帰国生保護者会               |
| 夏季水泳教室始(～26日)          | 9月9日(土) 学校公開、道徳地区公開講座 |
| 三者面談始(各クラス毎)           | 9月20日(水) 定期考査(～22日)   |
| 8月31日(木) 夏季休業終         |                       |